

3. HIV 感染症

HIV Infection

北海道大学大学院医学研究科内科学講座血液内科学分野

遠藤 知之

Tomoyuki Endo

(講師)

Summary

わが国では、新規の HIV 感染者 / AIDS 発症者数が、いまだ低下傾向を示していない。抗 HIV 薬の進歩にともない患者の生命予後が劇的に改善したこともあり、わが国における HIV 感染者数は増え続けている。HIV 感染者の診療に際しては、特別な対応は必要なく、スタンダードプリコーションの遵守が基本となる。HIV は、HBV や HCV と比較して感染力が弱い。医療器具の消毒なども HBV のマニュアルに準じて行うことで十分である。針刺しなどの曝露事故の際には、すみやかに抗 HIV 薬を内服することにより感染率を下げることができる。いざという時に慌てないために、曝露事故時の対応マニュアルなどを各施設で整備しておくことが重要である。

Key Words

HIV 感染症, AIDS, 標準予防策, 曝露事故, 抗 HIV 薬

はじめに

ヒト免疫不全ウイルス (human immunodeficiency virus ; HIV) は、主に血液・精液・膣分泌液を介して感染し得る病原体である。有効な治療薬がなかった 1990 年代半ば頃までは、多くの HIV 感染者が後天性免疫不全症候群 (acquired immunodeficiency syndrome ; AIDS) を発症して命を落とした。そのころのイメージが強かったためか、現代においても HIV 感染症に対して過度な懸念をもっている医療従事者 / 施設が少なからず見受けられる。HIV 感染症は、正しい知識を

もって適切に対応すれば決して怖い感染症ではない。本項では、HIV 感染症の基礎知識および医療従事者の血液・体液曝露事故対策を中心とした院内感染対策について概説する。

HIV 感染症 / AIDS の基礎知識

1 HIV 感染症と AIDS

HIV は、細胞性免疫の中心を担う CD4 陽性 T リンパ球に感染し、その数を減少させる。適切な治療を行わなければ、HIV 感染者の免疫能は徐々に低下し、数年後にはニューモシスチス肺炎、食道カンジダ症などの日和見感

◆メモランダム◆

エイズ治療拠点病院

平成 8 年の薬害 HIV 原告団と厚生省の間の和解条項が端緒となり整備された国内のエイズ医療体制。全国には約 370 のエイズ治療拠点病院が選定されており、HIV の診療のみならず、地域での研修会の開催や一般医療機関の HIV 診療の支援を行うなどの役割がある。最寄りの拠点病院は、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業で作成している拠点病院診療案内 (URL ; hiv-hospital.jp) で検索することが可能である。

Surgery Frontier 22(3) : 17-23, 2015